

ダンスを通して 多彩な表現

新宮市立城
南中学校で21

日、体育科の授業で取り組む創作ダンスの集大成を披露する「ダンス発表会」が開かれた。全校生徒181人が出演。保護者らが見守る中、生徒らは日々積み重ねてきた練習の成果を存分に表現し、努力の結晶を披露した。

同取り組みは、学習指導要領の改訂により体育科授業の一環としてダンス・武道が必修化された2012年から実施。チームでの取り組みを行うことで集団行動の感覚を養い、仲間同士の結束を深めることを目的としている。



練習重ねたダンスを披露

迫力ある全校演技も披露

う光景に驚きの表情を見せる観客のほか、写真に収める観客など大いに盛り上がりを見せた。

続いて、各チームが創作ダンスを披露。1年生は課題曲「自分だけのStory」、2年生以上は各チームで選曲から振り付けまでを行い、それぞれがチームメンバーの個性を生かしたソロパートなどの振り付けを披露。また「妖怪体操」当たり前体操」のような体操系のネタを仕込むなど趣向を凝らした演出で観客の笑いを誘った。

中田善夫校長は「皆さんのダンスは見ていて、各チームが創作ダンスを披露。1年生は課題曲「自分だけのStory」、2年生以上は各チームで選曲から振り付けまでを行い、それぞれがチームメンバーの個性を生かしたソロパートなどの振り付けを披露。また「妖怪体操」当たり前体操」のような体操系のネタを仕込むなど趣向を凝らした演出で観客の笑いを誘った。



見せ場づくりも忘れない

(吉永豊大)

城南中でダンス発表会